

# 古きよきものを、今 私たちの手で

～旧大井村役場の保存を～



(創建時の復元パース図)

## 建物概要 文化財としてもうひと働きを

**所在地**：埼玉県ふじみ野市苗間34番地6 **所有者**：ふじみ野市 **竣工年**：1937(昭和12)年5月  
**設計者**：北村甲子之助(埼玉県蕨町) **施工者**：三澤良作(大井村)・鹿戸安太郎(川越市)  
**建築規模** 建築面積：121.44㎡ 延べ床面積：196.24㎡ 高さ：8.0m  
**構造**：木造2階建 外壁：ラスモルタル下地、ペンキ吹付  
 内部：木ずり下地漆喰塗・天井縁甲板打上げ  
 建具は引違いガラス戸、木製扉  
**屋根形状・葺材**：寄棟、塔屋付、トタンスレート(創建時はスパニッシュ瓦)  
**庁舎建築の動機**：1909(明治42)年建築の前の庁舎(平屋建て)が狭く老朽化したため

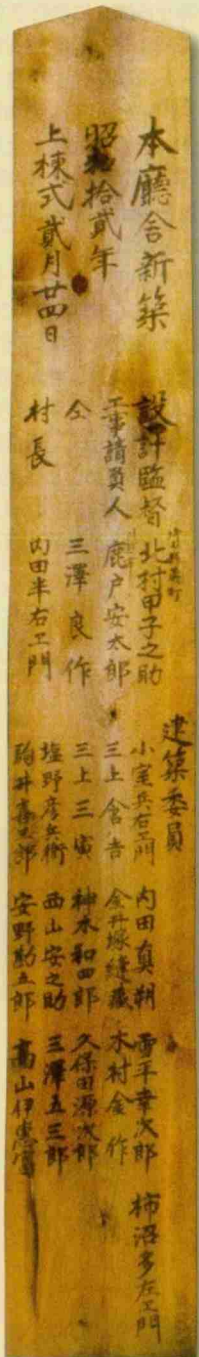


北村甲子之助



三澤良作・鹿戸安太郎

昭和十二年二月二十四日上棟を記す棟札



国の登録有形文化財  
 旧大井村役場庁舎

建物と  
 保存ボランティアの  
 ご案内

### 歴史

1937(昭和12)年、5月9日付けの「東京日々新聞」は、「新築落成式は昨日、午前10時から盛大に挙行された、同役場は去る1月18日工費約5千圓、木造2階建総延坪60余りで外部は鉄骨コンクリートのモダン庁舎である」と庁舎の落成式を写真入りで報道しました。当時の大井村は外部からの転入者も少なく、昔からこの土地で暮らしてきた人々にとって、他に誇れる『我が村の象徴』たる村役場が、当時でも目を見張るような洋風木造建築として落成したことへの喜びは、想像以上でした。

玄関部分や内装には手が加えられていますが、基本的な構造・階段・建具等は建築当初のまま残されています。門柱や大谷石の塀はほぼ完全に残されています。

1972(昭和47)年1月の役場移転後は、東入間警察署や大井小学校の特別教室として利用され、1977年からは町内の各遺跡から出土した遺物を整理し、調査報告書を刊行するための埋蔵文化財整理室として使用されていました。2003(平成15)年に耐震調査を実施し、その成果に基づいて2005(平成17)年度に補修工事を行いました。



東側からの現況



昭和40年代の役場庁舎(東側から)



階段手摺



2階旧議場の奉安殿



登録有形文化財  
 第11-0040号  
 この建造物は貴重な国民的財産です  
 文化庁

## 旧大井村役場等の保存にあなたのお力を!!

2002(平成14年)2月に旧大井村役場庁舎が国の有形文化財として文化庁に登録されました。これを機会に建物の保存についての支援ボランティアが誕生し、活動が始まりました。

2013(平成25年)からは資料館文化財ボランティアが共同して新たな出発となりました。

今こそ「温故知新」で昔の知恵や技術などをよく調べて大切に尊重し、そこから新しい事柄を知って行きましょう。

どうぞ旧大井村役場等を立派に育て守り、市民のために活用し、後世に引き継ぐこの活動にご参加ください。お待ちしております。

(ボランティア同より)



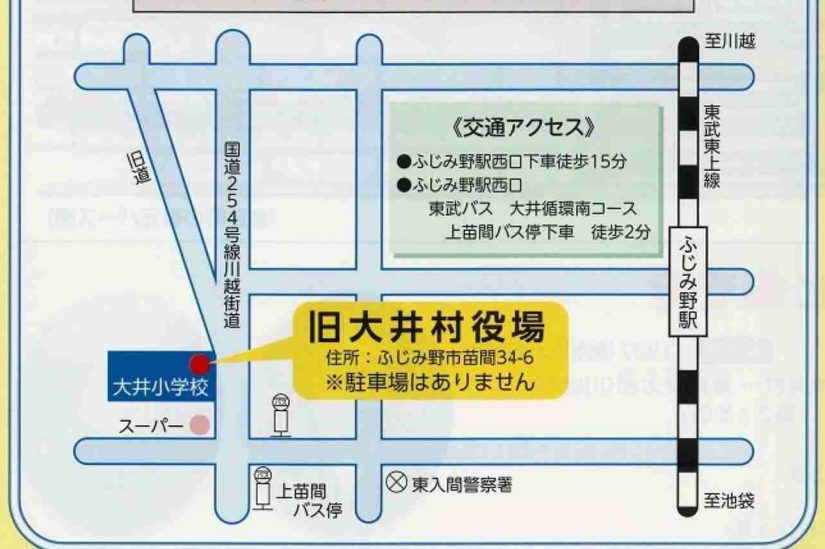
見学者に説明ガイド



管理清掃活動

● 問い合わせ先 ●

〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5  
 ふじみ野市立大井郷土資料館  
 電話 049-263-3111



《交通アクセス》  
 ●ふじみ野駅西口下車徒歩15分  
 ●ふじみ野駅西口  
 東武バス 大井循環南コース  
 上苗間バス停下車 徒歩2分

旧大井村役場  
 住所：ふじみ野市苗間34-6  
 ※駐車場はありません